



秋津川の思い出について笑顔で語り合うパネラーたち

これからの「まちづくり」を考える

宮園地区納涼会 2019

秋津川河川公園ましきラボで8月3日、宮園地区まちづくり協議会主催の宮園地区納涼会が開催されました。

当日は、地区の子どもたちや熊本大学の教員・学生なども参加し、バーベキューやヨーヨー釣り、スイカ割りで交流を深めました。また、「秋津川から考える宮園のまちづくり」をテーマに、熊大准教授や区長、まち協会長たちがパネルディスカッションを行いました。その中で、川で子どもの時できたことや今後やりたいことを語り合い、まちづくりのためのヒントを見つけました。

運動会の「玉入れ」が競技スポーツに

益城町アジャタ交流会

8月17日、広安西小体育館で益城町アジャタ交流会が開催されました。

アジャタは、1チーム4～6人の選手が、100個の球を全て籠に入れてしまうまでの時間を競うスポーツです。交流会には、一般混合・レディース・親子の部、合わせて10チームが参加。参加者たちは、優勝を目指し一生懸命に、そして楽しそうにプレーしていました。

【優勝】一般混合の部／広安体協、レディースの部／ワイワイビーチチーム、親子の部／仲良し親子チーム



㊦籠を目掛けて全力投球 ㊦表彰式の様子(写真は親子の部)



学生ボランティアに教わりながら宿題などに取り組む児童たち

しっかり学ぶ 楽しく学ぶ

飯野小で「学びーば」開校

飯野小で8月19～23日、大学生ボランティアチームによる学習支援「学びーば」が開校され、全校生徒172人のうち約120人が参加しました。

取材に行った19日には、開校式が行われ、児童たちは各教室へ。県内外の大学から訪れた学生ボランティアに教わりながら、夏休みの宿題などに取り組みました。開校期間中は、机での勉強だけでなく、水泳や1万個のドミノ並べなどの楽しい授業もあり、しっかり学びながらも、笑顔あふれる学び場となりました。

Best Smile
今月のベスト笑顔

